

財政の健全化に向けて

～快適で住みよい『心の田舎』づくりのために～



河合町

町では、将来の少子高齢化の到来等に備え、国の積極的な財政支援のもと**文化施設や福祉施設をはじめ学校、道路、下水道など、時代の要請や町の将来を見越した社会資本整備等**を計画的に進め、住民の皆さまにとって快適で住みよい町づくりを目指してきました。

その後の長引く景気低迷や人口減少、さらには国の三位一体改革の影響により町税や地方交付税などで予想を遥かに超える減収が見込まれましたが、平成16年度に県内でいち早く「財政健全化計画」を策定し、翌17年度から住民の皆さまのご理解やご協力を得ながら健全化に取り組んできたことで、**一度も赤字を出さず**に行財政運営を行ってきました。

これまで、町では将来の財政運営を安定的に行えるよう、中期の収支見通しを立て計画的に施策や事業などを進めてきたため、**今が一番厳しい財政状況**になることは想定していましたが、引き続き健全化に取り組んでいくことで乗り切れる見込みでした。しかし、景気低迷の長期化や人口減少などにより町税や地方交付税が予想を超えて減少していることで、町の財政状況は一層厳しさを増しています。

このような状況にあっても、福祉や教育など一定の水準を保ちながら、**町の活性化など将来を見越した重要な施策は着実に進める**必要があるため、平成17年度から取り組んできた「河合町財政健全化計画」の見直しを行うこととしました。

ここでは、一層の財政健全化に至った経緯や主な取り組み内容などについてご説明します。



町では、**社会資本整備や環境対策などにも積極的に取り組んできました。**

※これまで実施してきた主な社会資本整備等は次のとおりです。

●**総務関係**

土地開発公社の健全化

●**福祉関係**

総合福社会館(豆山の郷)

●**保健衛生関係**

清掃工場(粗大ごみ処理施設・ダイオキシン対策)、火葬場(静香苑)

●**土木関係**

同和対策(小集落地区改良事業)、佐味田宝塚古墳公園、水辺の里づくり(西大和3公園の汚泥対策等) 赤田池・中山田池・釘池、下水道整備(H27年度末現在 普及率99.1%、水洗化率92.6%)

●**社会教育関係**

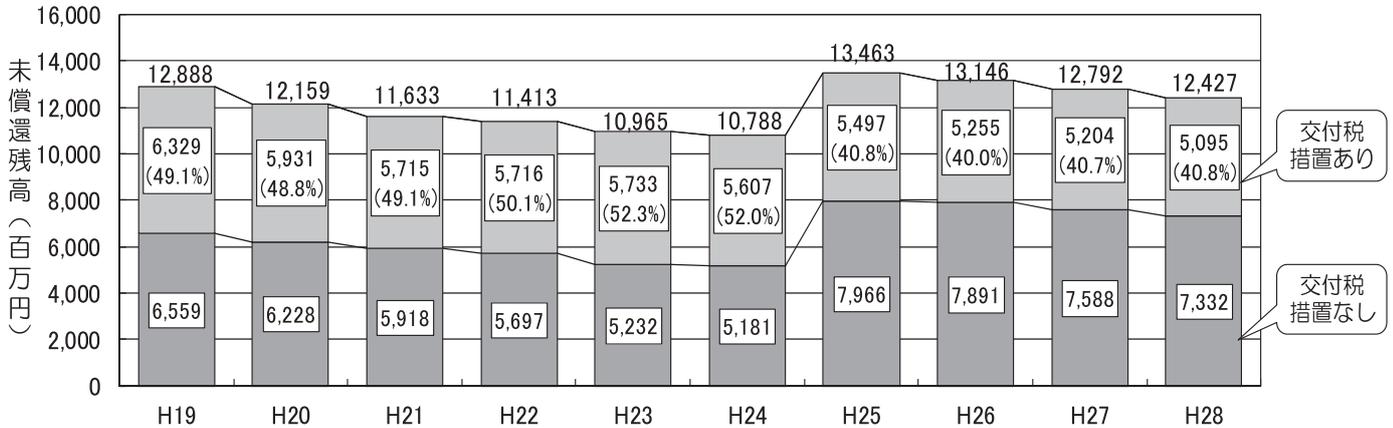
文化会館(まほろばホール)、図書館
総合スポーツ公園(グラウンド・テニスコート・ゲートボール場など)

●**学校教育施設**

第一小学校増改築、第二小学校プール、耐震補強(幼稚園、小・中学校)

これらの社会資本整備や環境対策などに使った町債の未償還残高は、H26年度以降**着実に減少**しています。
また、一部が後年度に地方交付税として戻ってきます。

町債未償還残高の推移

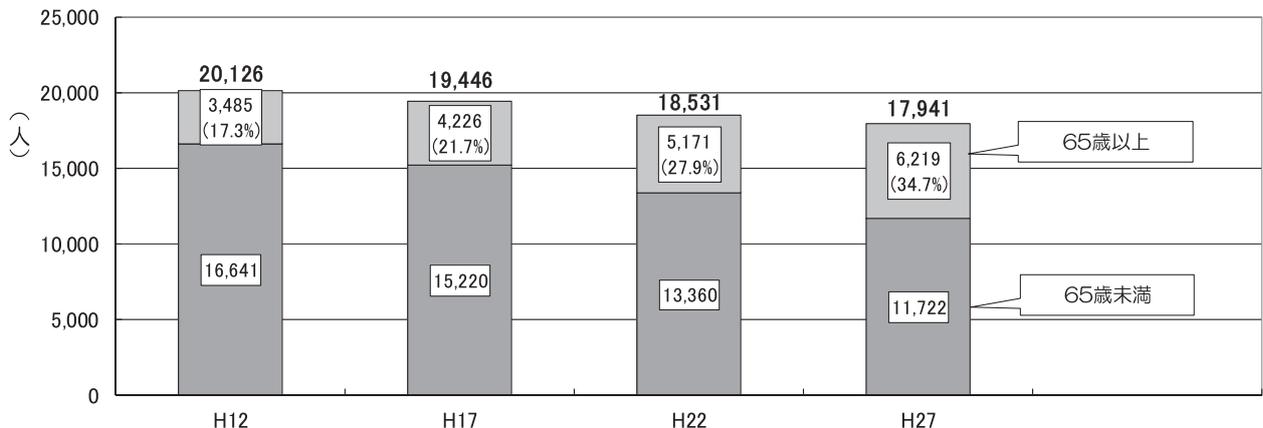


※町債未償還残高については、そのほとんどが社会資本整備や環境対策などの財源として借入れたものです。町では、借入をする場合は最も有利な町債を選択してきたため、H28年度未償還残高124億2千7百万円のうち、50億9千5百万円(約41%)は後年度に地方交付税として戻ってきます。

なお、H25年度は土地開発公社解散に伴い、第三セクター等改革推進債(28億6千6万円)を借入れたことで急増しましたが、その後は町債の借入を抑えてきたことで毎年度の未償還残高は着実に減少しています。

町の人口が**10年間で1,500人減少**しています。

町内人口の推移



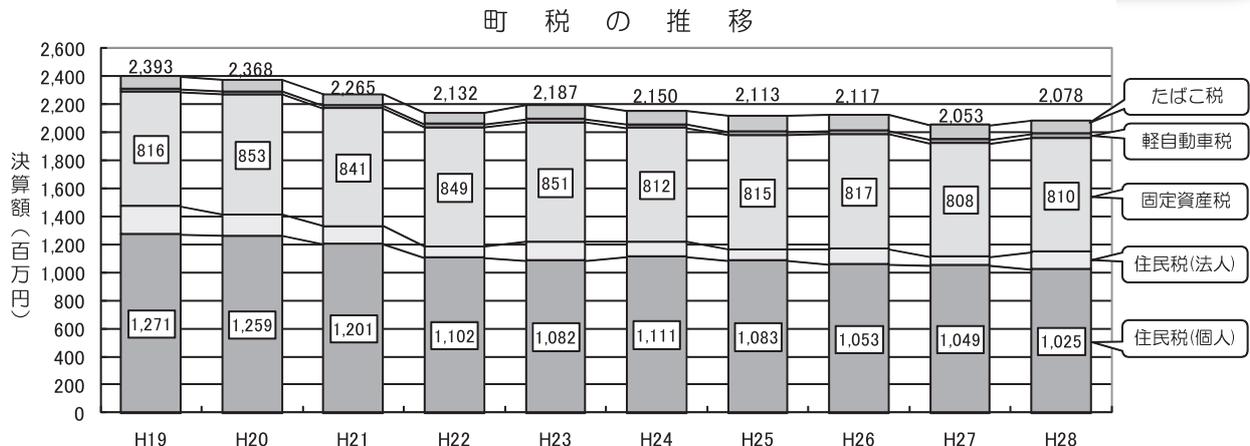
※国勢調査人口は、H17年度から約1,500人減少しています。

また、高齢化割合ではH22年度は3.6人に1人でしたが、H27年度では2.9人に1人が65歳以上となっており、**高齢化が急激に進ん**でいます。

なお、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口では、H47年度(約20年後)の町人口は15,388人にまで減少すると見込まれています。



町税(住民税や固定資産税など)が
10年間で3億2千万円減少しています。



※H19年度から、約3億2千万円減少しています。

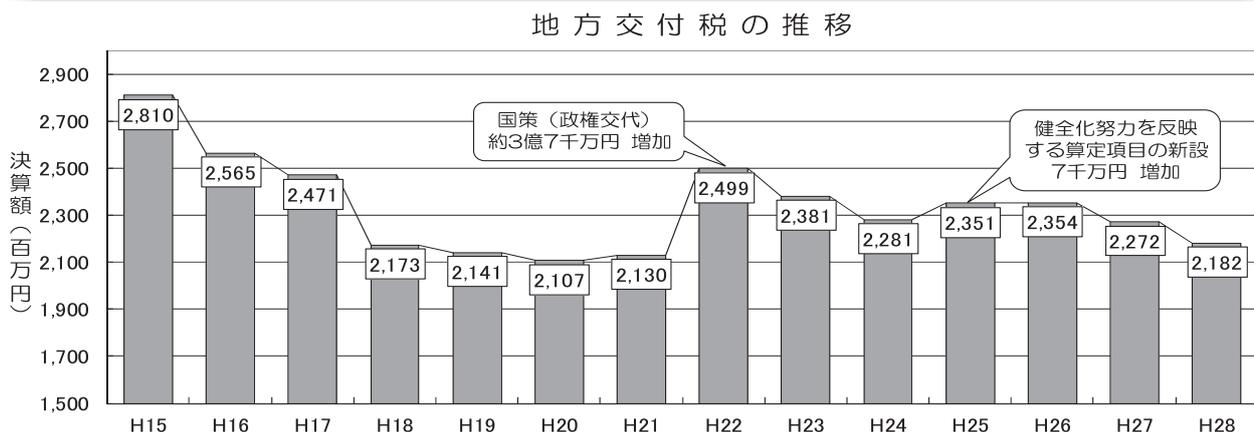
町税には、住民税(個人・法人)や固定資産税などがあります。

その中で半分以上を占める住民税(個人)が、近年の住民の高齢化により給与所得者等から年金所得者へ移行していることや、また、固定資産税ではH20年度のリーマンショック等で下落した土地や家屋の価格が反映されたH24年度の評価替えで減少し、その後も低迷が続いていることなどが、町税減少の大きな要因となっています。

※本町の人口は減少傾向にあり、このまま減少し続ければ町が衰退していくため、人口の流出抑制や流入促進対策を早急に進める必要があります。



地方交付税が、H15年度と比較して
6億3千万円減少しています。



※国の三位一体改革前のH15年度から、約6億3千万円減少しています。

※町の人口減少も地方交付税が減少している大きな要因となっています。

所得税など国が徴収する税金から、町の財政需要に応じて交付される地方交付税は、H16年度から本格実施された国の三位一体改革の影響により大きく減少しています。

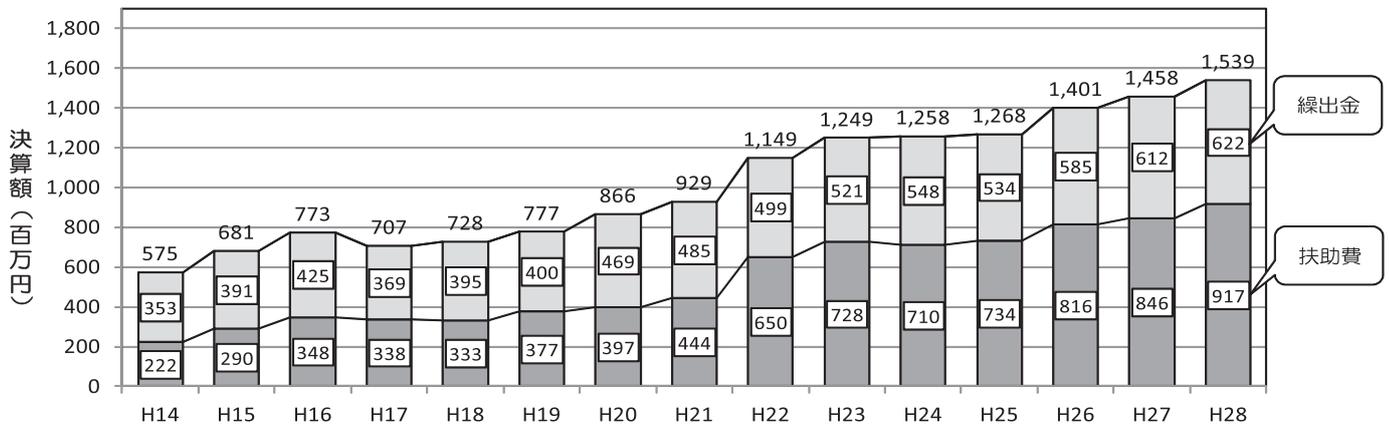
また、過去に借入れた町債の分として地方交付税で戻っていたもの〔注〕が、随時終了を迎えていることや、地方交付税の算定基礎である町の国勢調査人口の減少なども地方交付税が減少している要因となっています。

〔注〕町債を借入れた場合は、住宅ローン等と同様に全額(元金+利子)返済することになりますが、借入内容によっては、毎年度の返済額に対して約30%~100%が国から地方交付税で戻ってくるものがあります。



社会保障関係経費が10年間で7億6千万円増加しています。

社会保障関係経費の推移



※H19年度から、約7億6千万円増加しています。

補助費や繰出金(下水道事業分を除く)などの、いわゆる社会保障関係経費については住民の高齢化(H27年度では2.9人に1人が65歳以上)などの影響により年々増加しており、今後も、ますます増加していくものと見込んでいます。



健全化計画見直しの必要性

町の財政は大変厳しい状況にありますが、「河合のまちの夢ビジョン」を更に実りあるものにするためには、「街再生総合戦略」の取り組みや、現在、整備を進めている防災行政無線デジタル化、また、今後実施予定の公共施設耐震化などの財源確保も必要であり、このような状況に対処するために、「河合町財政健全化計画」の見直しを行うこととしました。

なお、見直しの中には、団体等補助金や各種イベント、公共施設運営の見直し、施設使用料の見直しなどの内容が含まれていますが、**住民の皆さまのご理解とご協力を得ながら**進めてまいります。

また、財政健全化を進めるにあたっては、財政を緊縮するだけでは町の活性化や人口減少対策につながらず、減収の悪循環で町が衰退してしまうため、人口の流出抑制や流入促進を意識した他の自治体が真似ることができない、街再生総合戦略などの**独自施策を強力に推し進め、町の活性化と増収を目指し、職員一丸となって**取り組んでまいります。

健全化計画見直しの主な取組内容について

行財政改革による財政健全化への取り組みは、永続的かつ不断に取り組むべき課題ですが、本計画の見直しでは、特に平成29年度から平成33年度までの5年間の「緊急対策期間」として、健全化に向けた取り組みを集中的に実施していきます。

「緊急対策期間」における主な取り組み内容は下記のとおりです。

(単位：百万円)

事業項目	健全化による効果額					
	H29	H30	H31	H32	H33	合計
1 町税収入等自主財源の確保	7	108	78	58	8	259
<ul style="list-style-type: none"> ・町税などの徴収率向上 ・ふるさと納税の推進 ・公共施設使用料減額廃止の検討 ・町有地の処分 ・広告の募集 など 						
2 事務事業の見直し	10	12	16	21	26	85
<ul style="list-style-type: none"> ・町バス廃止の検討 ・敬老会の見直し ・町民体育大会の見直し ・障害福祉年金削減の検討 ・各種団体補助金の見直し ・各種団体以外の補助金の見直し など 						
3 人件費の抑制	28	29	30	30	30	147
<ul style="list-style-type: none"> ・給与の削減 ・臨時職員等の適正な活用 						
4 経費の節減合理化等財政の健全化					36	36
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道線出金の適正化（使用料改正） 						
5 公共施設の管理運営	11	25	38	37	38	149
<ul style="list-style-type: none"> ・豆山の郷 3階浴室（こもれびの湯・せせらぎの湯）休止の検討 ・共同浴場廃止の検討 ・町民プール休止の検討 ・文化会館（図書館を除く）休止の検討 ・児童館と心の交流センターの統合 ・庁舎電話交換業務委託の削減 ・公共施設清掃業務委託削減の検討 など 						
6 健全化に向けた職員の取り組み	2	2	2	2	2	10
<ul style="list-style-type: none"> ・暖房器具使用に伴う電気代に対する応分の負担（負担額の引上げ） ・駐車場占有に対する応分の負担 						
健全化による効果額 合計	58	176	164	148	140	686

なお、取り組みについては、住民の皆さまのご理解とご協力を得ながら進めてまいります。